

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	荒本・片山チエン倉庫新築工事	階数	地上5F
建設地	大阪府東大阪市本庄西	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	78 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,169 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年8月5日
敷地面積	990 m <sup>2</sup>	作成者	高松建設株式会社大阪本店
建築面積	838 m <sup>2</sup>	確認日	2024年8月5日
延床面積	2,344 m <sup>2</sup>	確認者	高松建設株式会社大阪本店

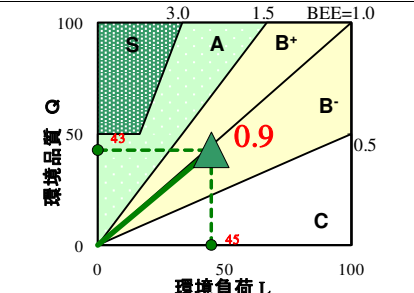


一級建築士事務所

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆☆

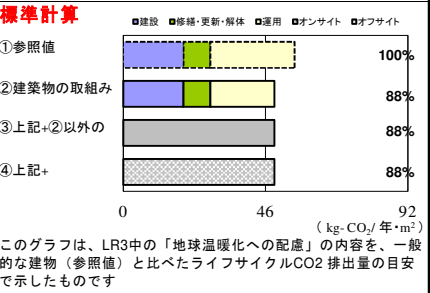
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★



### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

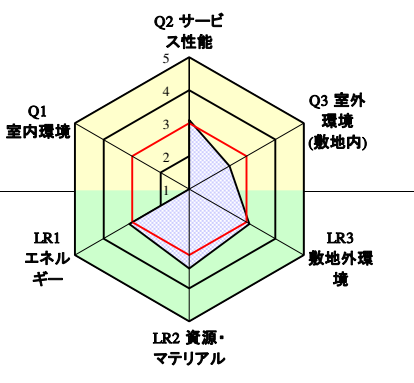
標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

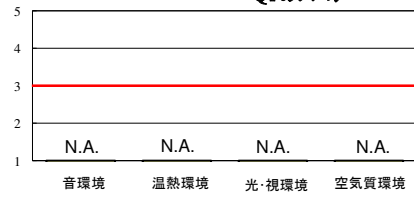


### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.7

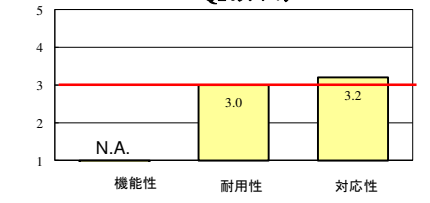
#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0



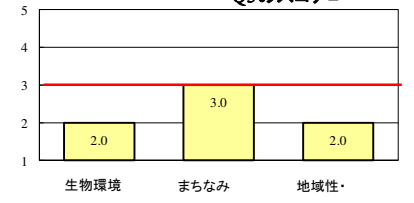
#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1



#### Q3 室外環境(敷地内)

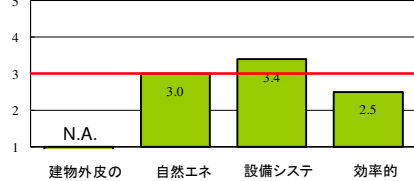
Q3のスコア = 2.4



**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.2

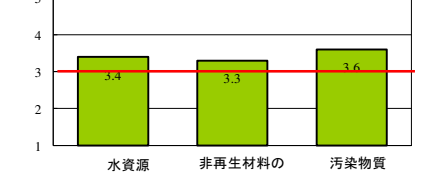
#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1



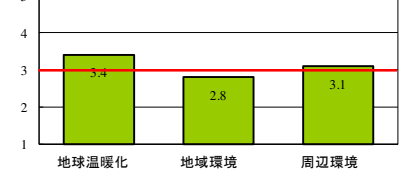
#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4



#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1



3 設計上の配慮事項		
総合	敷地内に可能な限り緑地を配し、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。	
その他	特になし。	
Q1 室内環境	対象外	Q2 サービス性能 電源設備等の地下空間への設置を避けている
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内に可能な限り緑地を配し、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。	
LR1 エネルギー	LED照明の設置。	LR2 資源・マテリアル 節水便器 節水水栓を採用している。
LR3 敷地外環境	荷捌き用車両の駐車スペースの確保。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称	荒本・片山チエン倉庫新築工事						
建設地	大阪府東大阪市本庄西						
用途/区分	工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	断熱性能					評価対象外	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外		評価対象外	
④	エネルギー消費性能					3	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外	評価対象外		3
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分			3		
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.4	3
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2.2 温熱環境悪化の改善					2.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制						
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					3.4	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項							